

市町村名		宜野湾市					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- 防災行政無線整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(4)-イ		
	担当部課名	総務部 市民防災室	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティネットの充実 -10-(2)	
事業内容	・災害情報の伝達手段を確保し、住民や観光客の迅速な避難行動に繋げるため、観光施設が集中する西海岸地域における防災行政無線子局、戸別無線機等の整備を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 〔「交付金」+「市町村負担」ベース〕			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	71,696				
		(b)予算現額	46,198				
		(c)増減額(b-a)	25,498	0			
		(d)繰越額	-	25,190			
	A.計(b+d)		46,198	25,190			
	B.執行済額		19,530	25,190			
	うち交付金充当額		15,624	16,376			
	次年度繰越額		25,190	0			
	執行率(%) (B/A)		42.3%	100.0%			
予算の状況の説明		・不要額が1,478千円発生しているが、事業費の執行残によるものであり、当初計画していた事業を実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・繰越の理由としては、子局柱(8カ所)の位置確定と戸別受信機を設置する予定の施設(37カ所)の管理者との事前調整に時間が掛かったため、工事日程が過密になり、次年度へ繰越することになった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・防災行政無線子局(37箇所)設置 ・防災行政無線戸別受信機(8箇所)設置	目標	( 子局(37箇所)・戸別受信機(8箇所) )	( )	( )	( )	
		実績	・子局(8局)・戸別受信機(37箇所)				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	・防災行政無線子局(8局)の位置確定と戸別受信機を設置する予定の施設(37箇所)の管理者との事前調整に時間が掛かったため、工事日程が過密になり、25年度へ繰り越すこととなった。 (平成25年度成果目標の活動目標欄の数値は記載誤り。)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・防災行政無線子局(37箇所)設置 ・防災行政無線戸別受信機(8箇所)設置	目標	( )	( 子局(37箇所)・戸別受信機(8箇所) )	( )	( )	( )
		実績		・子局(8局)・戸別受信機(37箇所)			
	【参考指標】		目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	・宜野湾市西海岸地区に・防災行政無線子局(8局)と防災行政無線戸別受信機(37箇所)設置することにより、住民や観光客が大津波警報等の災害情報を素早く覚知できるため、迅速な避難による減災が期待できる。 (平成25年度成果目標の成果目標欄の数値は記載誤り。)					

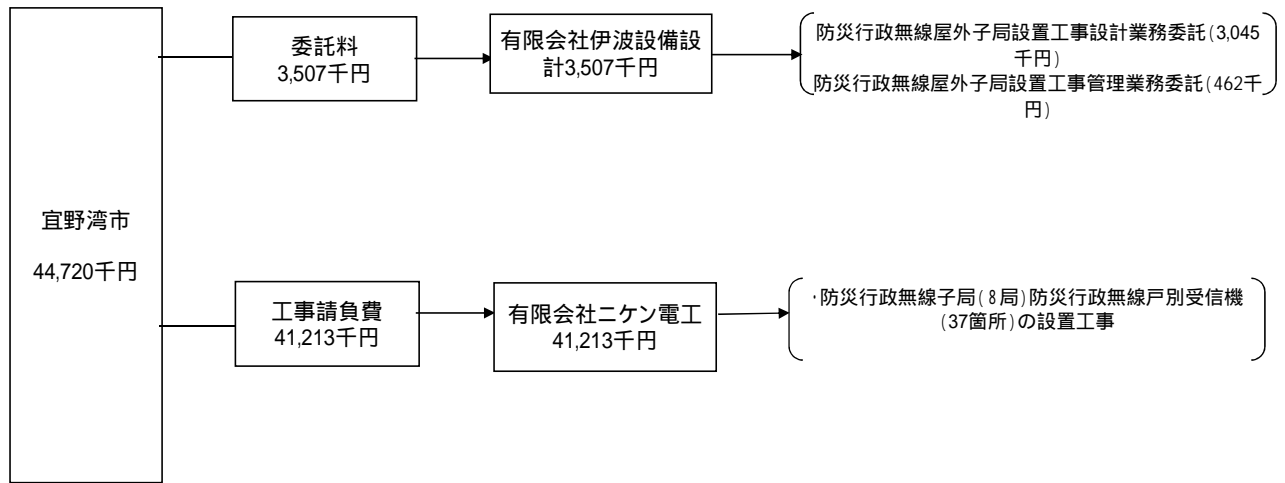
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・宜野湾市では防災行政無線とJアラートを連動させ、気象庁による大津波警報等の災害情報、消防庁によるゲリラ情報等の国民保護情報を24時間自動起動するシステムを構築させています。今回の防災行政無線整備事業によりさらに数多くの市民や観光客に素早く情報を流すことが可能になりました。今後は、情報伝達後の取り組みとして津波避難訓練等を定期的に行い、市民への防災意識の啓発に取り組んでいきたい。</p>	<p>・今回、防災行政無線子局を8局(デジタル)整備を行ったが、現在、宜野湾市にはアナログの防災行政無線が88局あり今後、デジタル化に向けての整備が必要となる。</p>

**今後の取り組み方針**

・アナログの防災行政無線(88局)のデジタル化に向けて関係機関との協議を行わなければならない。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
44,720	44,720	32,000	12,720	



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>備品購入事業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名 宜野湾市

平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	10 消防安全基盤強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ
担当部課名	消防本部警防課	事業実施(予定)年度 平成24~25年度	社会リスクセーフティネットの充実
		沖縄振興基本方針該当箇所	-10-(2)

事業内容  
 ・当市は普天間基地の周辺に住宅地が密集しており、狭隘な道路が多く、ポンプ車の進入が難しい地域が多い。また、火災、事故現場に出動するためには、市の中央に位置する米軍普天間飛行場を迂回しなければならない。こうした課題を解決し、市民等の安全安心を確保するため、小型消防ポンプ車両を導入し、消防能力の強化を図る。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ( )

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	73,578			
(b)予算現額	64,900					
(c)増減額(b-a)	8,678		0			
(d)繰越額	-		64,890			
A.計(b+d)	64,900		64,890			
B.執行済額	0		64,890			
うち交付金充当額	0		50,000			
次年度繰越額	64,890					
執行率(%) (B/A)	0.0%		100.0%			
予算の状況の説明	計画(仕様等)の見直しと、工程(履行期限)の変更で次年度繰越となったが、事業内容に関しては、大きな変動もなく執行できた。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
消防ポンプ自動車購入:2台	目標	( 2台購入 )	( )	( )	( )
	実績	2台購入			
	目標	( )	( )	( )	( )
	実績				
達成状況説明	・当市は市の中央に普天間飛行場が存在し、基地を取り囲むように住宅地が密集しており、また密集地域の道路は狭隘で、水槽付消防ポンプ自動車(型)の進入が難しい状況である。また、米軍機事故、特殊災害等の危険性も増すばかりで、密集地域のみならず、市全体へのさらなる迅速な消防活動が必要となっている。こうした課題を少しでも解決し市民の安全安心を確保するために消防ポンプ自動車(CD-型)を導入したことによって、火災出動のみならず、救急支援、その他出動等にも迅速に対応ができることとなった。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			消防ポンプ自動車購入:2台	( )	( 2台購入 )	( )
【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
	実績		2台購入			
進捗状況説明	・経年劣化や度重なる故障等で、消防車両として性能が衰えていた水槽付消防ポンプ自動車(型)2台を消防ポンプ自動車(CD-型)に更新できたことで、迅速な消防活動の強化が図られた。また特殊消火装置を備えているため、消防戦術の見直し等も行うこととなった。					

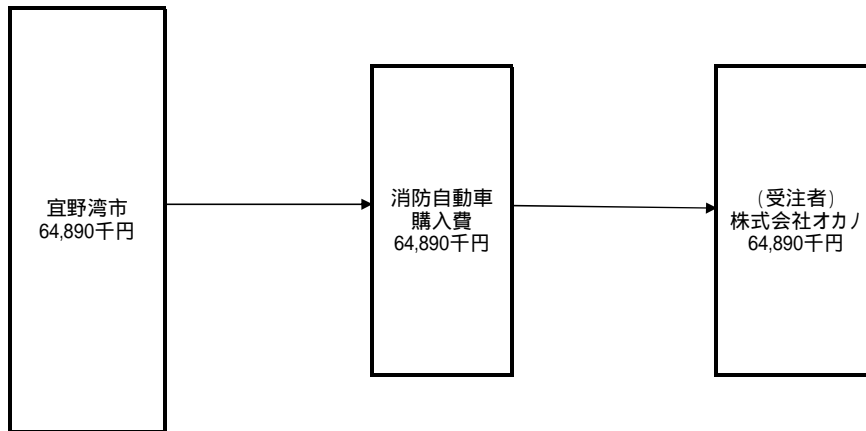
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・基地周辺や住宅密集地域、旧集落地域の狭隘道路への消防車両の走行・進入等を踏まえ、いち早く災害現場へ到着するためにも、消防ポンプ自動車(CD-型)の導入が必要であった。</p>	<p>・今後も市の現状と多種多様化する災害等を踏まえ、何が必要か何を取り組むべきかを検討し、事業の更なる効果が達成できるよう展開していく。</p>

**今後の取り組み方針**

・市民の生命・身体・財産を守るという観点から、消防力の強化を邁進するためにも、まずは必要性の高い事業を進めていく必要がある。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
64,890	64,890	50,000	14,890	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	過去の契約や取引等を踏まえ、業者を選定し指名競争による受注者の決定・契約は妥当と考える。 事業費目に関しては、事業の目的達成の観点から適性である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市
------	------

**平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	14 市民会館施設整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ
担当部課名	教育部 生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	-3-(2)

**事業内容**  
 ・宜野湾市民会館は文化活動の拠点として、市民の発表の場や芸術鑑賞の場として活用されているが、建設から30年経過し老朽化が進んでいる。普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況では、建替計画の策定が難しいため、現在の設備等を改修し、市民が利用しやすい施設として機能向上を図る。

**実施方法** 直接実施 委託 補助 負担 その他 ( )

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	71,696				
	(b)予算現額	63,864				
	(c)増減額(b-a)	7,832	0			
	(d)繰越額	-	37,210			
	A.計(b+d)	63,864	37,210			
	B.執行済額	26,654	37,209			
	うち交付金充当額	21,323	28,677			
	次年度繰越額	37,210	0			
	執行率(%) (B/A)	41.7%	100.0%			
	予算の状況の説明	関連部署、設計事務所との設計協議、大ホール等施設の借用制限の調整に不測の日数を要した。そのため繰越をしたがその後に改修工事は完了し、予算執行は確実に実行された。				

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		トイレ改修工事(バリアフリー化)	目標	( 改修工事終了 )	( )	( )
		実績	改修工事終了			
		目標	( )	( )	( )	( )
		実績				
達成状況説明	会館整備事業計画策定の遅れにより平成24年度内に改修工事を終了することが出来なかったが、次年度へ繰り越して工事終了した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		目標	( )	( 改修工事終了 )	( )	( )
	実績		改修工事終了			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )
		実績				
進捗状況説明	当該事業の実施においては、市民会館施設を開館しながら当事業を進めていく中で催物に関する調整等のため全体的な進捗の遅れが生じ、平成25年7月の工事完了となった。その影響により平成24年度の利用人数は、前年度と比較すると20,750人減の55,300人となった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・市民会館施設では、市民会館大ホールと中央公民館各施設が同一建物内に設置されている。前述の施設では各種催物が行われており、それらに対し工事による資材搬入時の施設内養生や騒音等による影響が懸念されるため、各施設の催物予約状況等との兼ね合いを考慮しながら事業の計画策定を進めなければならなかった。そのため、事業全体への遅れが生じてしまった。</p> <p>また、当事業を進める中では事業進捗の全体的な遅れにより、やむなく施設使用の制限をかけること等から必然的に利用者減となってしまった。</p> <p>・トイレ改修工事を行ったが配管等の目に見えない箇所の老朽化への対応を検討する必要がある。</p>	<p>・今後は円滑な改修工事を行うため工事時期等の調整が必要である。</p> <p>・配管等の全面的な改修が必要なため調査、点検を強化していく必要がある。</p>

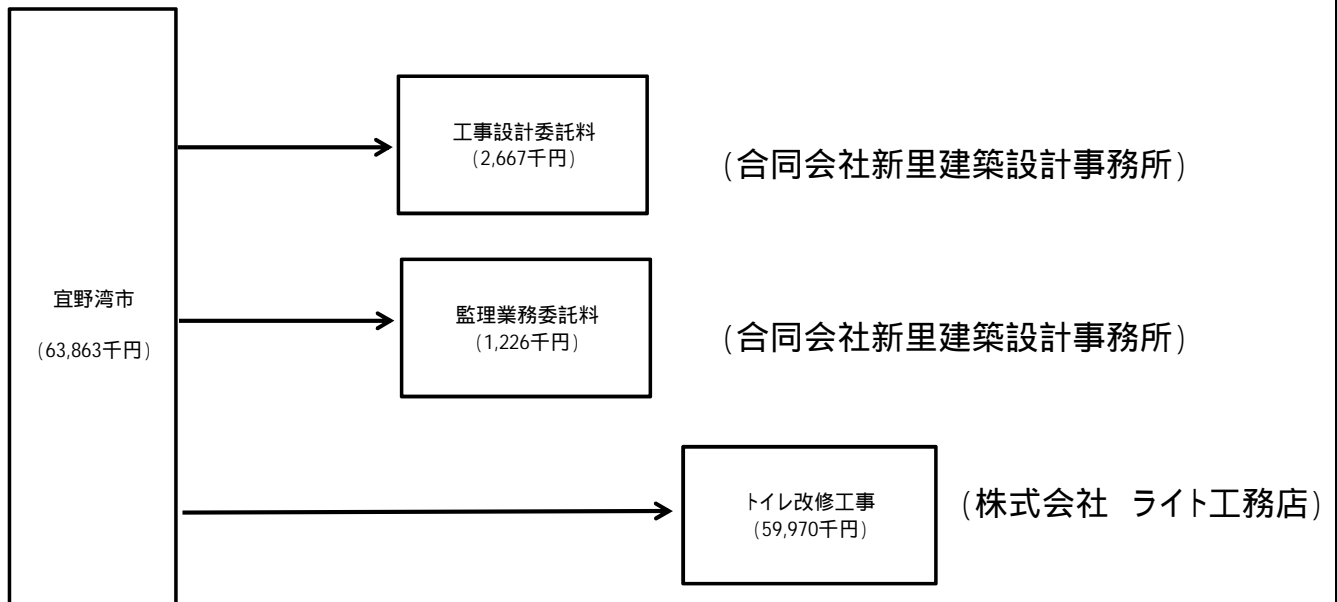
**今後の取り組み方針**

・”取組の検証”に上がっている問題点を踏まえ、トイレ配管等の目に見えない維持管理部分を調査し、必要な箇所は修理、交換等の取り組みを強化していく。

・これまで以上のイベント等の開催が出来るように、施設整備事業を継続していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
63,863	63,863	50,000	13,863	0



資金の流 れ、費 目 ・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	関連部署、設計事務所との設計協議、大ホール等施設の借用制限の調整に不測の日数を要した。そのため繰越金を出したがその後改修工事は完了し、資金の使途も確実の行われた。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	